

トトロの森 50 号地の環境教育の利用

堤 加陽子

(トトロのふるさと基金 調査部会)

要旨

クロスケの家から最も近いトトロの森 50 号地の現状と環境教育に利用していくための方法と整備についての提案を行う。

キーワード：ワークシート：整備；準備

はじめに

トトロの森 50 号地（以下 50 号地）は 2019 年 4 月 3 日取得された面積 1,744 m²のトラスト地である。所沢市三ヶ島一丁目 693-1694 にあり、トトロのふるさと基金活動拠点クロスケの家より徒歩約 15 分と最も近いトトロの森である（図 1）。クロスケの家有料公開に合わせ「トトロの森クロスケの家おさんぽ MAP」で 20・21 号地を案内しているが、早稲田大学敷地内から入り口が分かりづらい難点がある。それに引き換え 50 号地はトラスト地横から狭山湖堤防に続くドングリの道沿いに 53・29・38・22 号地も見ることができる（図 2）。また住宅地の中からトトロの森 50 号地は始まり保安上からも安心して利用できる立地となっている（図 3）。

50 号地の概要

50 号地はトラスト地中央に通路状の裸地があり、住宅地側は平地林となっていて視界の良さ合わせて安全に利用できる条件が整っている（図 4）。また、トトロのふるさと基金のトラスト地取得の観点において、現地を見ると開発のとどめとなるように住宅地に隣接し開発阻止の意向が理解できる立地となっている。ただ通路状裸地より狭山湖側斜面には貴重な植生も多く、安全利用の面からも公開はしないことが望ましいと考える（図 5・6・7）。

利用方法

今後環境教育の利用にあたってはワークシート（未就学児向け・就学児向け）を 100 円の有料で用意し、記入後のワークシートをクロスケの家に見せて、ワークシートにハンコを押し専用のバッチを渡すようにする。50 号地平地部分の樹木にはワークシートのヒントになるようなクロスケの家の庭木に設置されている名札を大型化し付けたり、希少種の植生を保護する柵にその意味を付けたり等々事前準備が必要になってくると考える。また、ワークシートがあれば近隣の小学校や幼稚園保育園などにも活用しやすくなるのではないかと思われる（図 8・9）。

利用にするために必要な整備

現状の 50 号地では安全に活用できないため、整備が必要と思われる（図 10）。

①の箇所に入出口扉をつける。

②のあたりに段差解消のためスロープか階段を設置する。

③斜面地に登らないよう簡易な柵を設ける。

④道路と接しているので下りられないようにする。

この他、植生の再調査の上樹木などの名札の準備・草刈りを含む手入れの回数・利用状況のチェックも兼ねた見回りの頻度等々検討が必要な要件は多くある。

まとめ

トラスト地の公開はクロスケの家ガイドツアーなどで実施しているが、開催回数に限りがあり参加人数も 20 名前後と広く公開になっていない。また、多くの人に公開するため出入り自由になると近隣住人とのトラブルになる事由が発生したり、自然環境への悪影響も懸念される。そのような点を考慮したうえでトトロの森 50 号地の利用方法を提案する。

参考文献

- 川越 みなみ・児嶋 翼 (2019) トトロの森 45 号地、47 号地～50 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境報告書 15 : 2-17
- トトロの森ふるさと基金 (2020) トトロの森をつくる トトロのふるさと基金のあゆみ 30 年



図1 クロスケの家からトトロの森 50 号地までの略図



図2 29号地に立つ案内看板



図 3 住宅地から見た 50 号地



図 4 地形図



図 5 50 号地中央部の通路状裸地



図 6 50 号地住宅地よりの平地林



図 7 50 号地狭山湖方面の斜面地

<p>もりのたつじんきっぷ カブトムシ・クワガタが見つかる木</p> <p>ドングリのかたち</p> <p>みつかったハッパ</p>	<p>森の達人切符 落葉樹の名前</p> <p>ブラシ上の花が咲く木</p> <p>ヤブランはどっち</p> <p>ヤブランの写真</p> <p>ジャノヒゲの写真</p>
--	---

図 8 ワークシート例



図 9 クロスケの家の庭木の名札

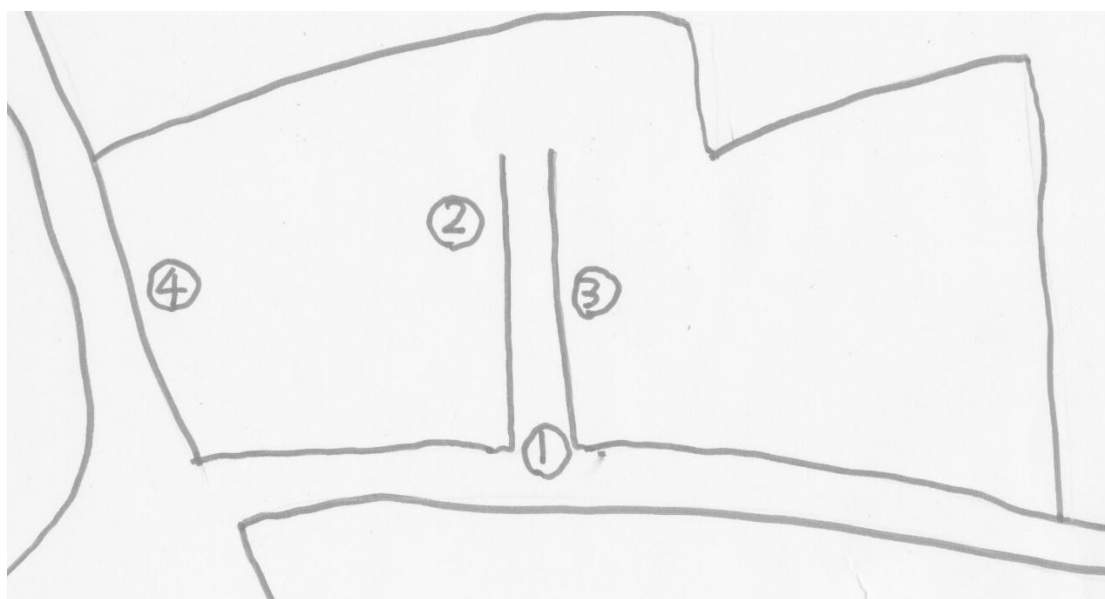


図 10 50 号地整備箇所